

令和6年度 第1回 神奈川県渋滞対策アドバイザー会議の 開催結果について

～国道1号国府津駅前交差点における局所渋滞対策を議論～

横浜国道事務所では、国道1号国府津駅前交差点における渋滞対策案について、局所渋滞対策事業の妥当性等を検討する「令和6年度 第1回 神奈川県渋滞対策アドバイザー会議」を開催しましたので、開催結果をお知らせします。

1. 開催日時 令和7年3月13日（木） 17時30分～18時00分
2. 開催場所 よこはま新港合同庁舎4階 横浜国道事務所会議室
横浜市中区新港（よこはましなかくしんこう）1丁目6番地1号
3. 開催方式 WEB会議
4. 委 員 横浜国立大学 教 授
東 海 大 学 教 授
5. 議事概要 別紙のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ
横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜国道事務所

電話：045-287-3001（代表） メールアドレス：ktr-yokohama-cloud@ki.mlit.go.jp

副所長 香田（こうだ） （内線：204）

調査課長 山田（やまだ） （内線：461）

神奈川県渋滞対策アドバイザー会議 議事概要

1. 日 時

令和7年3月13日（木） 17時30分～18時00分

2. 出席者

- ・横浜国立大学 教 授
- ・東 海 大 学 教 授

3. 議事概要

<国道1号国府津駅前交差点における局所渋滞対策事業>

- ・西湘バイパスが並走する国道1号の区間において旅行速度の低下が見られ、特に上り線側の親木橋（おやきばし）交差点周辺の速度低下が顕著。
- ・渋滞の先頭である国府津駅前交差点における交通状況の課題について確認した。
- ・局所渋滞対策事業として、上り線の所要時間の短縮及び捌け交通量を検討指標（案）とすることを確認した。
- ・局所渋滞対策事業として、上り線のみなし左折車線の設置を行う渋滞対策について妥当性を確認した。なお、交差点内の安全対策についても検討すること。

神奈川県渋滞対策アドバイザー会議(概要)

神奈川県内の主要渋滞箇所のうち、西湘バイパスが並走する国道1号の区間において旅行速度の低下が見られ、特に上り線側について、国府津(こうづ)駅前交差点を先頭に親木橋(おやきばし)交差点周辺までの速度低下が顕著になっております。

国道1号国府津駅前交差点(小田原市)は、上り線側に左折レーンが無いため、駅利用交通と直進車が同じ車線を共有することによる滞留が発生していることから、この度、「神奈川県渋滞対策アドバイザー会議」を開催し、国府津駅前交差点の課題や対策案の妥当性等についてご意見を伺いましたので公表します。

- 開催日：令和7年3月13日(木) 17:30~18:00【WEB会議】
- 有識者：田中 伸治 横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授
梶田 佳孝 東海大学 建築都市学部土木工学科 教授
- 課題(交通状況)：上り方向は夕方ピーク時が特に渋滞しており、渋滞の先頭は国府津駅前交差点
下り方向は朝ピーク時が特に渋滞しており、渋滞の先頭は親木橋交差点
- 局所渋滞対策内容：国道1号国府津駅前交差点における上り線のみなし左折車線の設置
- 期待される整備効果：所要時間短縮及び捌け交通量の増加

■位置図

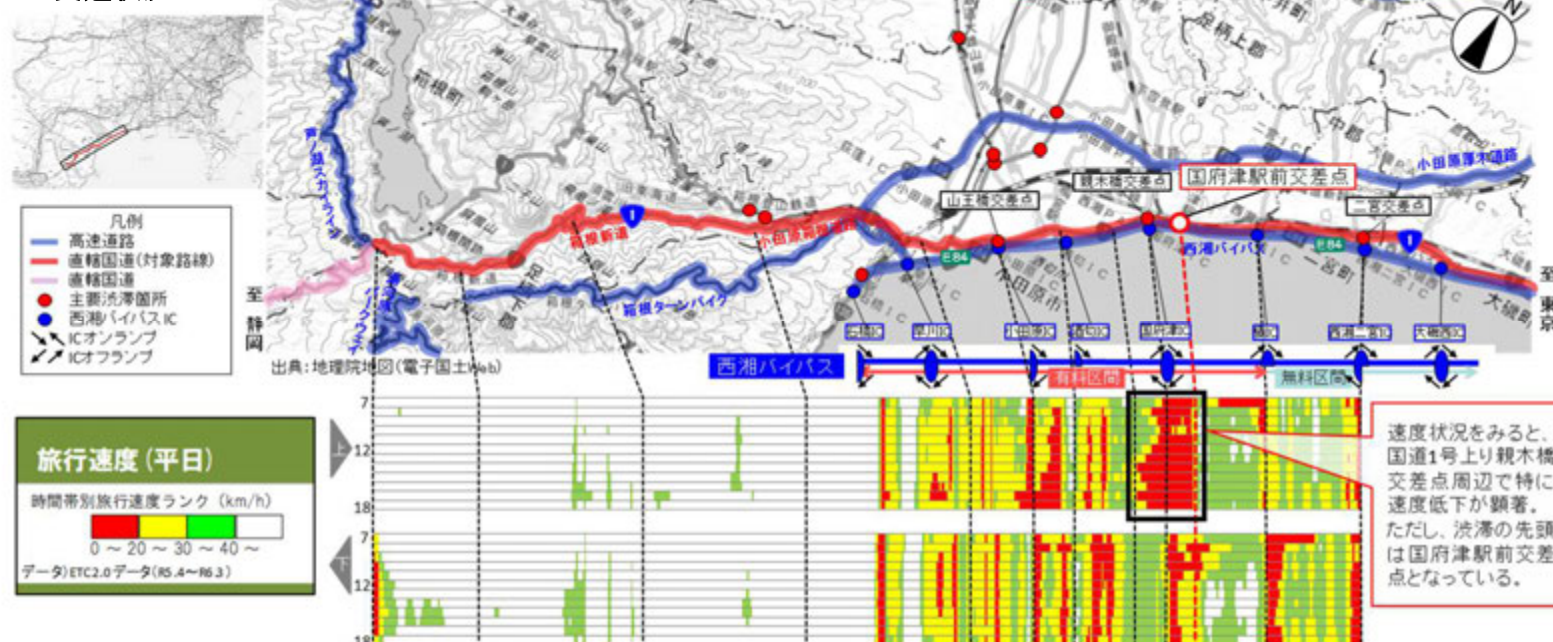


国府津駅前を先頭とした
渋滞の様子

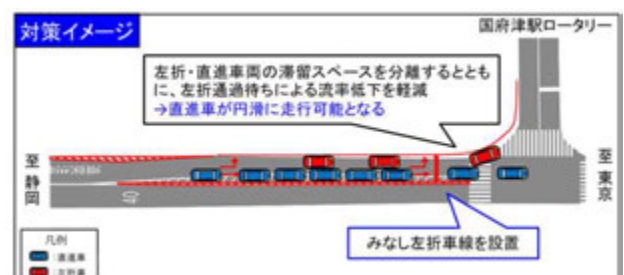
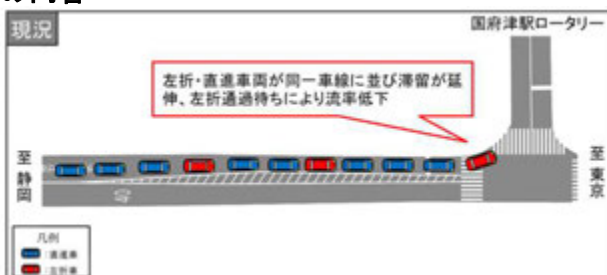


左折車の通過待ちにより
後続車両が滞留している様子

■交通状況



■対策の内容



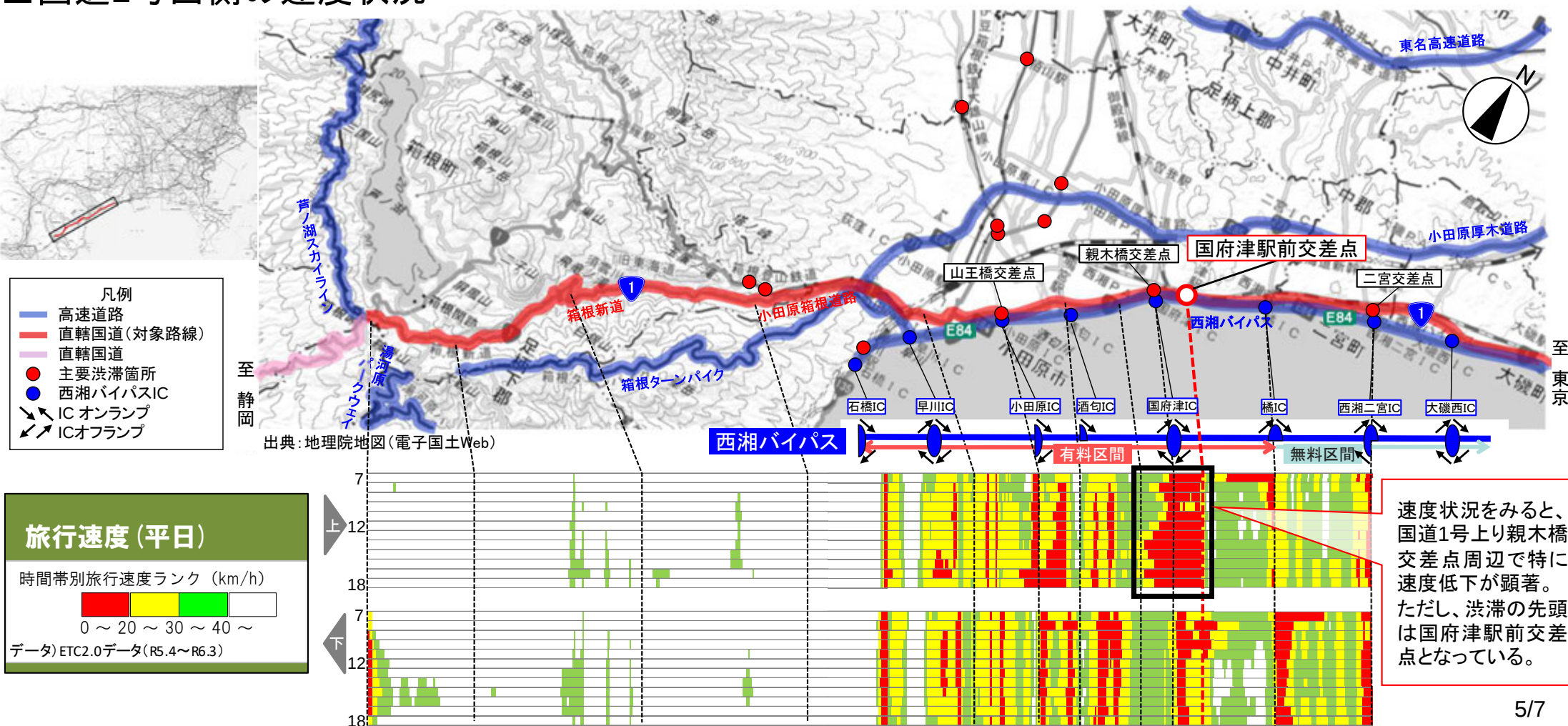
国道1号国府津駅前交差点における 局所渋滞対策事業

国道1号国府津駅前交差点【課題(交通状況)】

事業箇所を選定

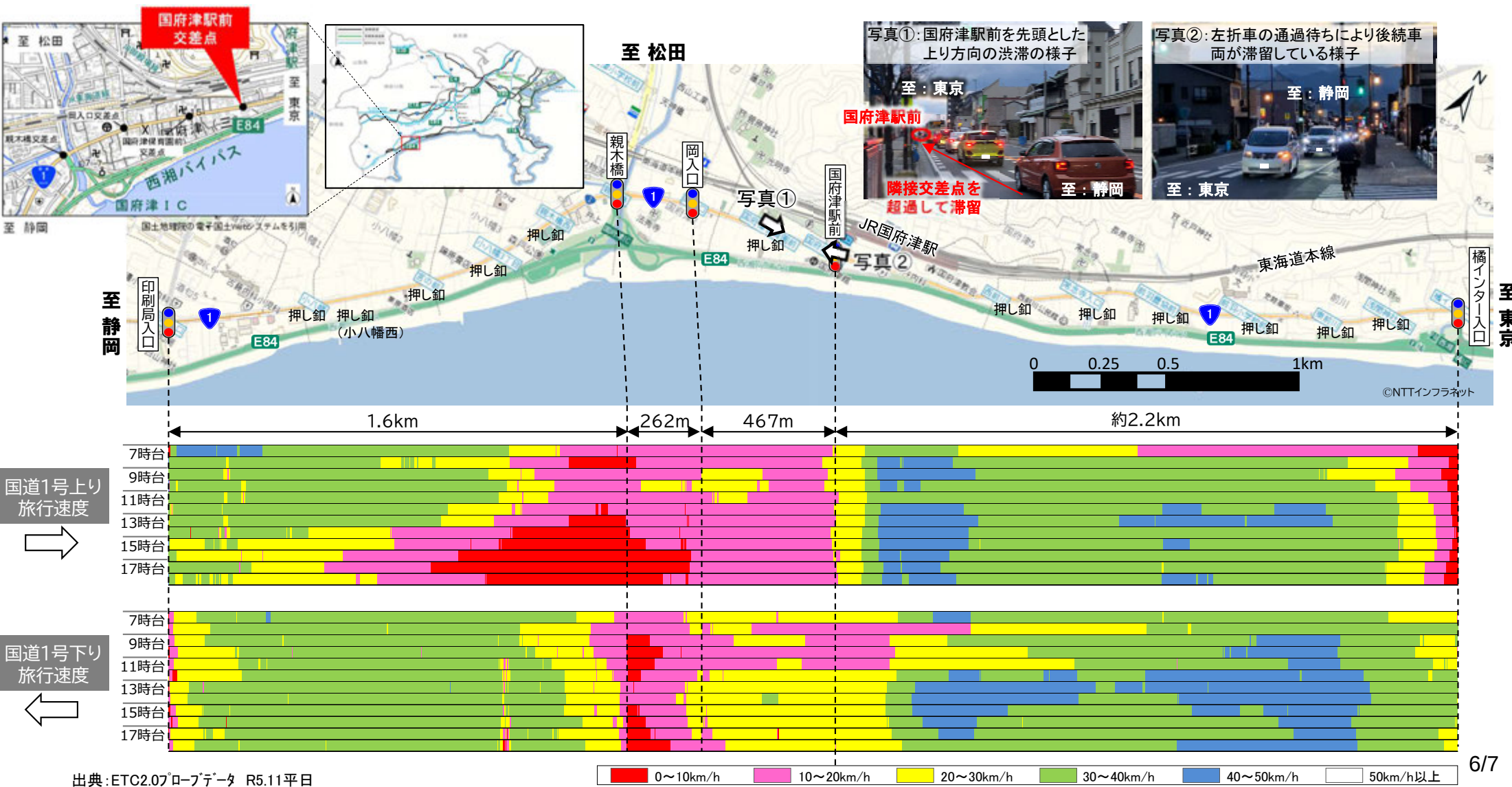
- 神奈川県内の主要渋滞箇所のうち「現時点でバイパス事業など大規模な改築事業の予定が無い」箇所及び「対策の実現性や効果の早期発現が見込まれる箇所」を抽出。
- 国道1号は西湘BPが並走しており、現時点で拡幅事業などの大規模な改築事業の予定は無い状況。
- 国道1号の交通状況と道路利用者からの要望を踏まえ、主要渋滞箇所周辺の交通状況を分析し、対策箇所を選定。

■国道1号西側の速度状況



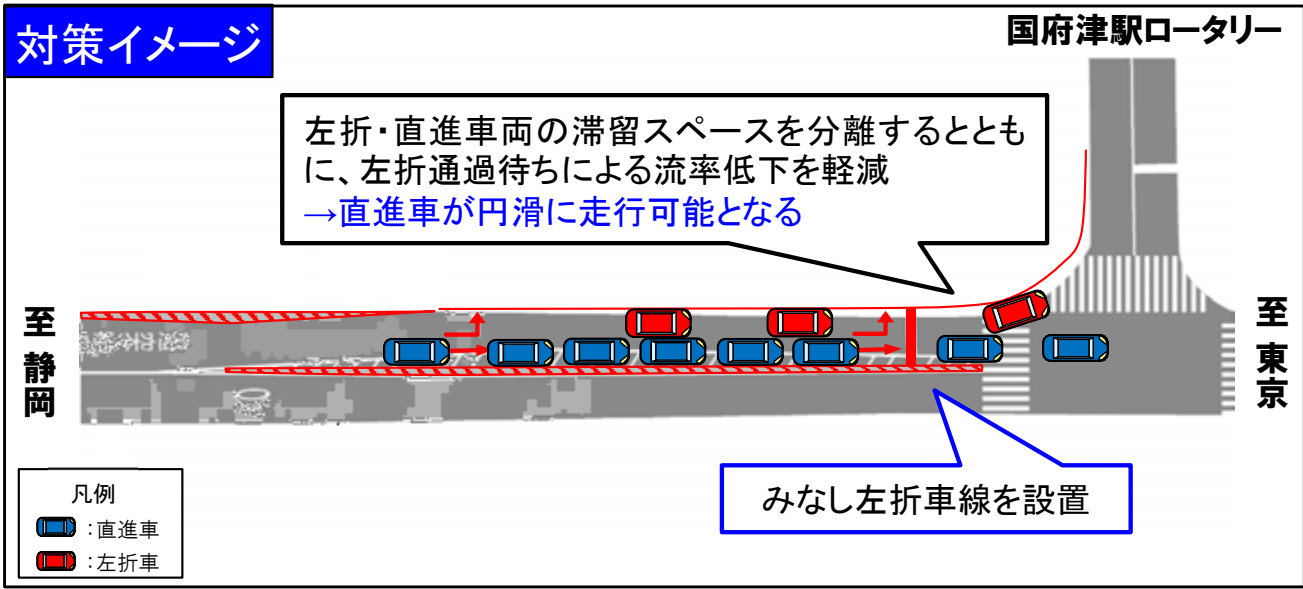
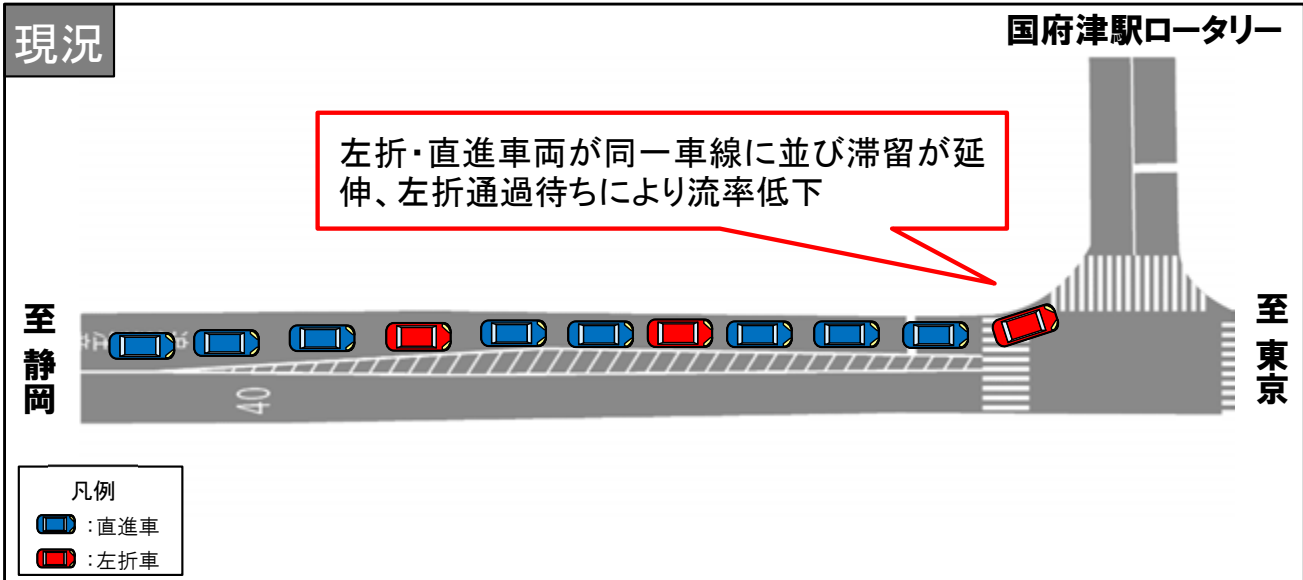
国道1号国府津駅前交差点【課題(交通状況)】

- 国道1号上り方向は、国府津駅前交差点を先頭とした速度低下が顕著な状況。特に夕方17時台が最も速度低下区間が延伸。
- 国府津駅前交差点から次の信号交差点(橘インター入口)まで2.2km離れており、当該交差点がボトルネックとなりやすい状況。
- 下り方向は、親木橋交差点が速度低下の先頭であり、特に朝8時台が最も速度低下区間が延伸。押し釦式信号を除き、親木橋交差点から次の信号交差点(印刷局入口交差点)まで1.6km離れており、親木橋通過後は目立った速度低下は発生していない。



国道1号国府津駅前交差点【検討指標(案)及び対策案】

- 上り方向では、左折車線が設置されていないため、左折車と直進車が同一車線に滞留しており、ボトルネックとなっている状況。
- ⇒所要時間短縮、捌け交通量の増加を検討指標(案)と設定。
- ⇒左折車の通過待ちによる流率低下を解消するため、みなし左折車線の設置事業を実施。



【左折車の通過待ちにより後続車両の滞留が延伸】



左折車の混在により、直進車の捌け交通量が低下し通過に時間を要する